

中高一貫だより

<編集・発行>
えりも地区連携型
中高一貫教育
推進委員会事務局

えりも高校から夢を抱き町役場や国公立大学等へ旅立ちました！

第29回 卒業証書授与式



えりも地区連携型中高一貫教育推進委員長
(北海道えりも高等学校長)

三浦真児

えりも町の皆様には、日頃より、中高一貫教育にご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

この3月中高一貫教育を終え、えりも高校を卒業した28名は、進学17名、就職11名とそれぞれの進路先に旅立っていきました。

更なる専門性を求めて大学や専門学校で学ぶ者、町役場や信金、漁協といった形で地域の生活を支える仕事に就いた者、販売や建設、自衛隊などといった業務で地元を離れて働く者と、この4月からはそれぞれ選んだ道での新たな人生が始まります。

それぞれの人生の中で、中高一貫教育の環境学習「百人浜に学ぶ」などを通して体感したふるさとえりもへの思いを持ち続けてほしいと思います。

今年、えりも高校風極プロジェクト同好会は北海道新聞社の「地域げんき大賞」を受賞しました。町のイベント会場や風の館で行っている「高校生かふえ」などの取り組みが、地域に根ざし、未来を切り開く活動として評価されました。そのような活動を通して、高校生たちがふるさとえりもの素晴らしいところを実感し、これからの人生を通して、誇りに思っていければいいと考えております。

今後も地域と学校が一体となる中、中高の連携をより実効性のあるものにし、えりもの魂を生徒たちが継承していけるようにしたいと思っております。よろしく申し上げます。

学力向上に向けた各教科の取組

えりも中学校とえりも高校間で行われている中高一貫教育推進事業では、「えりもの子」達の学力向上を軸として、学校間の授業交流を柱とする種々の取組を行っております。十四年目を迎えた今年度はさらに各教科での取組を充実させ、「えりもの子」達の学力向上を図ってまいりました。紙面の都合で一部とはなりますが、各教科部会での取組の概要を紹介いたします。

【国語部会】 中学から高校までの6年間、同一テキストを用いて、漢字の系統的な指導を行っています。また、高校から中学への乗り入れ授業を行い、中学3年生の授業において、古典を中心に入試対策を行いました。

【理科部会】 中学校でのTT実験や乗り入れ授業に加えて、考査結果の分析など教員同士の情報共有に力を入れています。また、今後特に必要とされる科学的文章の読み書き能力をつける取組を行っています。

【数学部会】 幅広い学力に対応するため中高7名で指導にあたりました。兼務発令で高校教諭が中2生への授業を実施し、少人数授業を実現しました。中3生への乗り入れ授業では習熟度別5展開を実現しました。高校では理系から国立大合格者を輩出するなど躍進しています。

【保健体育部会】 中学1年生から高校3年生まで体力テストを実施しました。その結果を分析し、全国平均から劣っている項目について、各学校において授業内で補強運動に取り組み、体力向上への意識づけをすることができました。また、高校教員による乗り入れ授業でソフトボールの学習、中高互いに柔道の授業でティームティーチングに入る取組を行うことができました。

【社会科・地歴公民科部会】

高校教員の中学校への乗り入れ授業を行い、現代史の内容の振り返りを少人数で行いました。また、長期休み明けの課題テストで社会科に対する知識の補強に努めました。

【英語部会】 4年目を迎えた中高兼務による乗り入れ授業では、中2の授業でTT授業を週2時間実施し、きめ細かい指導を行いました。また、中高合同で英検を実施し、上位級への合格者も輩出しました。